

1 主題名 仕事へのねつい C(13)勤労、公共の精神

2 ねらいと教材

- (1) ねらい 自分の働きが周囲に与える影響や、それに伴う思いを考えることを通して、みんなのために働こうとする意欲を高める。
- (2) 教材名 「木の中にバットが見える」 (日本文教出版 「小学どうとく 生きる力3」)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、小学校学習指導要領の第3学年および第4学年の内容項目Cー(13)「働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと」についての考えを深めることを意図したものである。中学年においては、みんなのために働くことで楽しさや喜びを味わうことがある一方で、働くことを負担に感じたり、面倒に思ったりする様子も見られる。そこで、自分の役割を果たすことで集団生活の向上につながることを理解し、役割を果たす意義について考えることを通して、進んで働こうとする態度を育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態と教師の願い (調査日 令和*年*月*日 調査人数*名)

あなたが係の仕事をするのは、何のためですか。
・やらないと、困る人がいるから。*人 ・役に立ちたいから。*人 ・喜んでくれる人がいるから。*人 ・楽しいから。*人 ・好きなことだから。*人 ・仕事だから。*人 ・やらないと、文句を言われるから。*人
係の仕事で気をつけていることは何ですか。
・仕事を忘れないでやる。*人 ・丁寧にやる。*人 ・友だちと協力してやる。*人 ・みんながどうしたら喜んでくれるか考える。*人 ・楽しんでやる。*人

アンケートの結果では、係の仕事をする理由は、他の人が困らないように、など他者のことを考えた理由が多いことが分かる。また、係の仕事で気を付けていることは、仕事を忘れないでやる、のような義務的な回答が多かった。これらのことから、係の仕事をやらなければいけないと思って取り組んでいる児童が多いことが分かる。一方で、仕事をすることを楽しんだり、誰かに喜んでもらえることを味わったりしている児童はあまり多くない考える。そのため、仕事を続けるには、自分がやらなければいけないという思いだけでなく、自分が頑張ることで誰かが喜んでくれることや、それを楽しいと思えることも大切であることに気付けるようにし、進んで働こうとする態度を育てたい。

(3) 教材について

本教材は、バット職人の名人が、若いころ失敗した経験をきっかけに仕事の意義について考え、プロ野球選手から信頼されるバット職人に成長していった話である。選手からバットが送り返されてきたときに、どのような気持ちで研究を重ねたのか、職人の仕事に対する思いを考えたり、自分は何のためにクラスの係活動を行っているのか考えたりすることで、自分の働きが周囲に与える影響や、それに伴う思いを考え、みんなのために働こうとする意欲を育てたい。

(4) 指導観

導入で、事前アンケートの結果を提示し、係の仕事に対して、元々もっていた道徳的価値観を想起させる。展開前段では、教材を活用して、児童の元々ある価値観や、教材に示された価値観など、多様な考えに気付かせる。次に、全体で協働的な活動を行い、出てきた多様な考えを、ピラミッドチャートを使ってまとめ、多様な意見から、より大切にしていたと思う考えを選ぶことで、課題に対する自分の考えを焦点化していく。展開後段では、より自分との関わりで考えられるように、係活動への取り組みに視点を絞って考えさせる。展開前段で使用したピラミッドチャートを活用して、教材で考えたことを自分の考えに生かし、一番大切にしたい考えを選べるよう

にする。さらに、グループで理由も合わせて共有し、自分の考えをさらに深く見つめ、一人一人が納得した解を見付けることができるようにする。このように、道徳的価値のイメージから、多様な考えを引き出し、思考ツールを使って焦点化することを通して、児童一人一人が自分の生き方についての考えを深め、自分の働きが周囲に与える影響や、それに伴う思いを理解した上で、みんなのために働こうとする意欲を高めることができるようにしたい。

4 本時の指導

(1) 準備・資料

教科書、道徳ノート、ワークシート、アンケート結果、場面絵

(2) 展開

		主な学習活動と発問	予想される児童の反応	指導の手立て 評価(評価方法)
導入	自分との関わりで考え始める	1 係の仕事で気を付けていることやその理由を話し合う。 仕事って、何のためにするのか。	・やらないと困る人がいるから。 ・役に立ちたいから。 ・楽しいから。 ・喜んでくれる人がいるから。	・事前アンケートの結果を提示することで、係の仕事に対して、元々もっていた道徳的価値観を想起させる。
展開	多様な感じ方や考え方に接する	2 教材「木の中にバットが見える」を読み、話し合う。 ◎ 久保田さんの行いを支えたものは何だろう。 ○ 係の仕事は、何のためにやるのかな。	・プロの選手に自分が作ったバットを使ってもらいたい。 ・人の役に立ちたい。 ・仕事がなくなったら困る。 ・みんなが喜んでくれたら嬉しい。 ・ほかの人が困らないようにしたい。 ・クラスを、いいクラスにしたい。	・ピラミッドチャートを活用し教材と自己をつなぎ、多様な考えから焦点化していけるようにする。 ・ピラミッドチャートの下段に友だちの考えを書き足し、多様な価値観に気付かせるようにする。 ・価値のイメージを基に補助発問をして、多様な意見を引き出す。 ・多様な意見からより大切にしていきたい考えを選ぶことで、課題に対する自分の考えを焦点化していく。 ・自分ごととして考えられるよう、係の仕事に着目させる。 ・教材で考えた自分の考えを生かすために同じチャートの上段に書き足す。 ・他者と理由を合わせて共有することで、自分の納得した解を選んでいくことができるようにする。 ・協働的な活動の中で、自分の考えが変わったときには、書き足してよいことを伝える。
終末	自分との関わりで考え、伸ばしたい自己を深く見つめる	3 学習を振り返る。	・クラスみんなが楽しくなるよう、係の仕事を頑張りたい。 ・自分が仕事をする、クラスの楽しみが増えることが分かった。	・今日の授業で、考えたことや気付いたことを書く。 評価 何のために仕事をするのか、考えている。(発言、ワークシート)